先行きの改善を見込む神奈川県内中堅・中小企業の景況感
——企業経営予測調査2009年6月調査結果——

要旨

【景況感】

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が前回調査比8ポイント低下して▲76となり、非製造業も同6ポイント低下の▲59となった。製造業では一般機械や食料品、情報通信機械などが落ち込んだ反面で、化学・石油と電子部品・デバイスではD.I.値が上昇した。一方の非製造業では、情報通信で「悪化」超幅が大きく拡大したほか、建設やサービスなどでもD.I.値が低下した。反面で、運輸・倉庫と不動産では景況感が改善した。3か月先（9月末）の見通しについては、製造業、非製造業ともにD.I.値の上昇を予想していることから、全産業ベースの業況判断D.I.値は6月末比6ポイント上昇の▲60が見込まれている。なお、先行きの改善を見込むのは2009年9月調査以来1年9か月ぶりのことである。

内外景気に底入れの動きがみられるなかで、県内中堅・中小企業の経営状況にも改善の兆しがみられるようになっている。

【新型インフルエンザへの対応】
今回の新型インフルエンザへの対応を尋ねたところ、具体的な対応策をとった企業が回答企業の40.7％を占めた。内容については「感染予防法の指導徹底」が最も多く対応策をとった企業の84.4％を占めた。次いで「マスクなど衛生資材の配布・備置」が78.1％、「従業員の体調管理」が39.3％となった。今後については94.1％の企業が具体的な対応策をとる予定である。そのうち95.3％の企業が「感染予防法の指導徹底」を予定し、74.3％が「従業員の体調管理」をあげるなど、今回に比べて具体的な対応が進む様子が明らかとなった。

【本件についてのお問い合わせ先】
株式会社総研研究所 調査部 新瀬健一
TEL. 045-225-2375（ダイヤルイン）
企業経営予測調査
2009年6月実施
四半期別（第152回）結果
対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,365社
（うち製造業446社、非製造業919社）
回収率48.6％（回答企業663社、うち製造業276社、非製造業387社）

業況判断D.I.
（2009年6月末）

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が前回調査比8ポイント低下して▲76となり、非製造業も同6ポイント低下の▲59となった。製造業では一般機械や食料品、情報通信機械、金属製品などが落ち込んだ反面で、化学・石油と電子部品・デバイスではD.I.値が上昇した。一方の非製造業では、情報通信で「悪化」超幅が大きく拡大したほか、建設やサービスなどでもD.I.値が低下した。その反面で、運輸・倉庫と不動産では景況感が改善した。

業況判断D.I.の推移

（注）各年の調査月は3、6、9、12月。シャドーは景気後退期を示す。
（3か月先の見通し）

2009年9月末時点の業況判断D.I. は、全産業で▲60と6月末の▲66に比べて6ポイント上昇する見通しとなっている。なお、先行きの改善を見込むのは2007年9月調査以来1年9か月ぶりのことである。

製造業では、金属製品でD.I.値の低下、輸送機械と化学・石油で横ばいが見込まれているものの、それ以外の業種では上昇が予想されていることから、全体では6月末の▲76から▲71へと5ポイント「悪い」超幅が縮小する見通しとなっている。

一方、非製造業では飲食店・宿泊で横ばいが予想されているものの、他のすべての業種では「悪い」超幅の縮小が見込まれていることから、全体でも▲53と6月末比6ポイント上昇する見通しである。

内外景気に底入れの動きがみられるなかで、県内中堅・中小企業の経営状況にも改善の兆しがみられるようになっている。

足下の業況判断D.I. と3か月先の見通し
（業況判断D.I.：業況が「良い」マックス「悪い」の回答社数構成比、％）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2008年12月末</th>
<th>2009年3月末</th>
<th>2009年6月末</th>
<th>2009年9月末（予想）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全産業</td>
<td>▲44</td>
<td>▲59</td>
<td>▲66（▲68）</td>
<td>▲60</td>
</tr>
<tr>
<td>製造業</td>
<td>▲48</td>
<td>▲68</td>
<td>▲76（▲78）</td>
<td>▲71</td>
</tr>
<tr>
<td>一般機械</td>
<td>▲29</td>
<td>▲56</td>
<td>▲77（▲81）</td>
<td>▲74</td>
</tr>
<tr>
<td>電気機械</td>
<td>▲39</td>
<td>▲68</td>
<td>▲81（▲83）</td>
<td>▲71</td>
</tr>
<tr>
<td>情報通信機械</td>
<td>▲55</td>
<td>▲50</td>
<td>▲67（▲90）</td>
<td>▲44</td>
</tr>
<tr>
<td>電子部品・デバイス</td>
<td>▲67</td>
<td>▲87</td>
<td>▲77（▲87）</td>
<td>▲59</td>
</tr>
<tr>
<td>輸送機械</td>
<td>▲55</td>
<td>▲76</td>
<td>▲88（▲88）</td>
<td>▲88</td>
</tr>
<tr>
<td>食料品</td>
<td>▲41</td>
<td>▲30</td>
<td>▲50（▲40）</td>
<td>▲45</td>
</tr>
<tr>
<td>化学・石油</td>
<td>▲55</td>
<td>▲80</td>
<td>▲68（▲85）</td>
<td>▲68</td>
</tr>
<tr>
<td>鉄鋼・非鉄</td>
<td>▲25</td>
<td>▲63</td>
<td>▲72（▲75）</td>
<td>▲67</td>
</tr>
<tr>
<td>金属製品</td>
<td>▲52</td>
<td>▲68</td>
<td>▲84（▲86）</td>
<td>▲87</td>
</tr>
<tr>
<td>非製造業</td>
<td>▲41</td>
<td>▲53</td>
<td>▲59（▲62）</td>
<td>▲53</td>
</tr>
<tr>
<td>建設</td>
<td>▲34</td>
<td>▲45</td>
<td>▲57（▲57）</td>
<td>▲53</td>
</tr>
<tr>
<td>不動産</td>
<td>▲47</td>
<td>▲45</td>
<td>▲44（▲48）</td>
<td>▲24</td>
</tr>
<tr>
<td>運輸・倉庫</td>
<td>▲44</td>
<td>▲73</td>
<td>▲64（▲72）</td>
<td>▲56</td>
</tr>
<tr>
<td>卸売</td>
<td>▲28</td>
<td>▲69</td>
<td>▲69（▲67）</td>
<td>▲60</td>
</tr>
<tr>
<td>小売</td>
<td>▲59</td>
<td>▲61</td>
<td>▲61（▲65）</td>
<td>▲58</td>
</tr>
<tr>
<td>情報通信</td>
<td>▲55</td>
<td>▲44</td>
<td>▲88（▲67）</td>
<td>▲75</td>
</tr>
<tr>
<td>飲食店・宿泊</td>
<td>▲48</td>
<td>▲45</td>
<td>▲47（▲45）</td>
<td>▲47</td>
</tr>
<tr>
<td>サービス</td>
<td>▲36</td>
<td>▲45</td>
<td>▲53（▲65）</td>
<td>▲52</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）カッコ内は前回2009年3月調査時点における6月末予想である。
【参考表】

業況判断のピーク・ボトム

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全産業</th>
<th></th>
<th></th>
<th>製造業</th>
<th></th>
<th></th>
<th>非製造業</th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>ピーク</td>
<td>ボトム</td>
<td></td>
<td>ピーク</td>
<td>ボトム</td>
<td></td>
<td>ピーク</td>
<td>ボトム</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>37</td>
<td>▲ 66</td>
<td>37</td>
<td>▲ 78</td>
<td>37</td>
<td>▲ 56</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(89/12)</td>
<td>(93/12)</td>
<td>(89/12)</td>
<td>(92/12)</td>
<td>(89/12)</td>
<td>(93/12)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>▲ 21</td>
<td>▲ 68</td>
<td>▲ 8</td>
<td>▲ 74</td>
<td>▲ 29</td>
<td>▲ 62</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(97/3)</td>
<td>(98/12)</td>
<td>(97/3)</td>
<td>(98/12)</td>
<td>(97/6)</td>
<td>(98/12)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>▲ 26</td>
<td>▲ 56</td>
<td>▲ 14</td>
<td>▲ 59</td>
<td>▲ 38</td>
<td>▲ 54</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(00/12)</td>
<td>(01/12)</td>
<td>(00/12)</td>
<td>(01/9)</td>
<td>(00/12)</td>
<td>(01/12)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>▲ 1</td>
<td>▲ 66</td>
<td>1</td>
<td>▲ 76</td>
<td>0</td>
<td>▲ 59</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(07/3)</td>
<td>(09/6)</td>
<td>(05/12)</td>
<td>(09/6)</td>
<td>(07/3)</td>
<td>(09/6)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

|  | 最近1年間の動き |
|---|---|---|---|
|  | 全産業 | 製造業 | 非製造業 |
| 2008/6 | ▲ 23 | ▲ 21 | ▲ 25 |
| /9 | ▲ 29 | ▲ 27 | ▲ 30 |
| /12 | ▲ 44 | ▲ 48 | ▲ 41 |
| 2009/3 | ▲ 59 | ▲ 68 | ▲ 53 |
| /6 | ▲ 66 | ▲ 76 | ▲ 59 |
| 09(予想) | ▲ 60 | ▲ 71 | ▲ 53 |

業況判断D、I、の実績と予想の推移

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>実績 (A)</th>
<th>予想 (B)</th>
<th>前回予想</th>
<th>前回予想 - 実績</th>
<th>(B) - (A)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2007/3</td>
<td>▲ 1</td>
<td>▲ 4</td>
<td>▲ 3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/6</td>
<td>▲ 6</td>
<td>▲ 3</td>
<td>▲ 2</td>
<td>▲ 4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/9</td>
<td>▲ 9</td>
<td>▲ 5</td>
<td>▲ 6</td>
<td>▲ 4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/12</td>
<td>▲ 11</td>
<td>▲ 12</td>
<td>▲ 6</td>
<td>▲ 1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2008/3</td>
<td>▲ 15</td>
<td>▲ 19</td>
<td>▲ 3</td>
<td>▲ 4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/6</td>
<td>▲ 23</td>
<td>▲ 27</td>
<td>▲ 4</td>
<td>▲ 4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/9</td>
<td>▲ 29</td>
<td>▲ 33</td>
<td>▲ 2</td>
<td>▲ 4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/12</td>
<td>▲ 44</td>
<td>▲ 54</td>
<td>▲ 11</td>
<td>▲ 10</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2009/3</td>
<td>▲ 59</td>
<td>▲ 68</td>
<td>▲ 5</td>
<td>▲ 9</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>/6</td>
<td>▲ 66</td>
<td>▲ 60</td>
<td>▲ 2</td>
<td>▲ 6</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
【新型インフルエンザへの対応】

今回の新型インフルエンザへの対応を尋ねたところ、具体的な対応策をとった企業が回答企業の40.7％を占めた。反面で「特に対応策を実施していない」が31.5％、「情報収集のみで具体的な対応策は実施しなかった」が25.9％となっている。対応策をとった企業の割合を業種別にみると、情報通信（87.5％）、食料品（72.7％）、飲食店・宿泊（58.8％）、化学・石油（56.0％）、運輸・倉庫（55.6％）、小売（51.7％）が高くなっている。

対応策の内容（複数回答）については「感染予防法（うがい、マスク着用など）の指導徹底」が最も多く対応策をとった企業（270社）の84.4％を占めた。次いで、「衛生資材（マスク・消毒薬など）の配布・備置」が78.1％、「従業員の体調管理」が39.3％、「感染地域への出張制限」が26.7％となった。

今後、再び新型インフルエンザが蔓延・拡大した場合の対応については94.1％の企業が具体的な対応策をとる予定であり、今回に比べて具体的な対応が進む見込みである。

今後の対応策の内容については、95.2％の企業が「感染予防法の指導徹底」をあげて最も多くになっている。今回具体的な対応策を実施した企業では「従業員の体調管理」や「感染地域への出張制限」を行う企業が増加するなど対応が進む計画になっている。また、今回対応策を実施しなかった企業においても、「感染予防法の指導徹底」や「従業員の体調管理」などを中心に対応が進む計画である。

以上

### 今回の新型インフルエンザへの対応

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>今回</th>
<th>今後</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>特に対応策を実施していない</td>
<td>209  (31.5)</td>
<td>172  (25.9)</td>
</tr>
<tr>
<td>情報収集のみで、具体的な対応策は実施しなかった</td>
<td>270  (40.7)</td>
<td>12   (1.8)</td>
</tr>
<tr>
<td>全産業</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>製造業</td>
<td>89  (32.2)</td>
<td>71   (25.7)</td>
</tr>
<tr>
<td>非製造業</td>
<td>120 (31.0)</td>
<td>101  (26.1)</td>
</tr>
<tr>
<td>企業数</td>
<td>624  (94.1)</td>
<td>663  (100.0)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 今回具体的な対応策を実施した企業の対応策

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>感染予防法の指導徹底</th>
<th>感染地域への出張制限</th>
<th>従業員の体調管理</th>
<th>衛生資材の配布・備置</th>
<th>その他</th>
<th>回答企業数(社)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>今回実施した対応策</td>
<td>84.4</td>
<td>26.7</td>
<td>39.3</td>
<td>78.1</td>
<td>6.3</td>
<td>270</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 今回の対応別にみた今後の対応策

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>感染予防法の指導徹底</th>
<th>感染地域への出張制限</th>
<th>従業員の体調管理</th>
<th>衛生資材の配布・備置</th>
<th>その他</th>
<th>回答企業数(社)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td>95.2</td>
<td>45.4</td>
<td>74.0</td>
<td>69.4</td>
<td>4.0</td>
<td>663</td>
</tr>
<tr>
<td>特に対応策を行った</td>
<td>95.3</td>
<td>52.9</td>
<td>74.3</td>
<td>86.4</td>
<td>8.2</td>
<td>270</td>
</tr>
<tr>
<td>情報収集のみ</td>
<td>95.8</td>
<td>43.5</td>
<td>79.2</td>
<td>70.2</td>
<td>1.2</td>
<td>172</td>
</tr>
<tr>
<td>特に対応策を実施していない</td>
<td>94.4</td>
<td>37.4</td>
<td>69.2</td>
<td>46.5</td>
<td>1.0</td>
<td>209</td>
</tr>
</tbody>
</table>